

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	利用者のニーズ・目標・サービス内容について状況に応じより具体的な内容(5W1Hを意識)の策定に期待する。	利用者本人の想いが込められた、より具体的な介護計画の作成を行い、サービス内容においては、実施回数などより明確に記載する。	今までの生活歴の把握と日頃の心の奥の想いに寄り添い、積極的に利用者の理解に努める。頻度や実施回数などをサービス内容に落とし込みプランを立案していく。	12ヶ月
2	35	誤嚥・窒息発生時の対応について定期的な実技訓練の実施に期待する。	誤嚥・窒息防止策の理解と実践の徹底、発生時の適切な対応の習得を目指す。	内部研修で指導や発生時の訓練を実践し適切な対応を習得する。	12ヶ月
3	38	災害発生時の地域との協力体制構築に向けた今後の取り組みに期待する。	積極的に地域に出向き、地域住民との関係を構築する。	散歩や外出の際、地域の方と出会った時に積極的に挨拶をするなど、コミュニケーションを図る。地域の行事や防火訓練があれば進んで参加し関係性の構築に努める。	12ヶ月
4	4	地域住民(町会長、民生委員、ホーム近隣住民、地域ボランティアなど)の参加促進への取り組みに期待する。	積極的に地域に出向き、地域住民との関係を構築する。	運営推進会議参加への案内状を郵送するだけでなく、電話にて参加への声掛けを行う。地域の行事があれば進んで参加し関係性の構築に努める。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。